

平成23年度 山口市医師会女性医師部会総会

佐々木 映子

平成23年6月11日(土)午後7時より山口市医師会2階講堂にて第1回の総会が開かれた。会員総数38名、うち13名の出席があり、日赤病院の研修医である中村圭李先生、山根亜希子先生の2名も参加された。また、斎藤会長、吉野副会長、坂本副会長、淵上理事、成重理事も出席された。

1. 開会あいさつ 野瀬橘子部会長
2. 医師会長あいさつ 斎藤永会長
3. 設立総会

1) 議題

- ① 平成23年度事業計画案(下記)の承認。
 - ・年数回の役員会
部会長が召集し開催。各事業の詳細について協議する。
 - ・年1回の研修会
テーマは会員へのアンケートで決定。
講師は会員から選考。
 - ・デルタ地区(山口市・吉南・防府)女性医師部会連携会議への参加
- ② 平成23年度予算案の承認。

③ その他 出席者全員の自己紹介があった。

2) 総会記念講演

講師：山口大学大学院医学系研究科教授
松田昌子先生

演題：「いま、女性医師に
期待されるものは」

今の日本が医師不足という状況である原因として、少子高齢化、国際化・情報社会、技術の進歩、疾病構造の変化などが考えられる。日本では医学部の女子学生の割合が50%になろうとしているが、女性医師の年代別就業率のグラフを外国と比較すると、30代に落ち込みがあるM字を描いている。どのようにすればこの落ち込みを改善できるか考えなくてはならない。成功しているスウェーデンなどの外国の例を挙げ、いくつかのヒントを呈示された。しかし、女性医師も早晚自分の働き方だけでなく、みんなの働き方や日本の医療をどのようにしていくかということを考えなくてはならなくなるようになる、と締めくくられたことが印象的であった。

